資料－６

令和2年6月吉日

第４回糸魚川地域における二級河川減災対策協議会

平成7年7月11日
姫川洪水状況
（糸魚川市山之坊地区）

新潟県糸魚川地域振興局
地域整備部

協議会の目的と開催状況

協議会の目的と開催状況

目　的

近年の甚大な洪水被害を踏まえ、河川管理者、県及び市等の関係機関が連携・協力して

1　減災のための目標を共有する。

2　ハード及びソフト対策を一体的、かつ計画的に推進する。

3　河川が氾濫することを前提として、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築する。

＜開催状況＞

第1回　（平成29年6月5日開催）

・協議会の設立趣旨、規約、取り組み方針を確認

第2回　（平成30年7月3日開催）

・規約の改正（水防法に基づく会である。対象とする河川名を明記。）

・取り組み状況の確認

第3回　（令和元年7月10日）

・取り組み状況の確認

第4回（令和2年6月吉日）「書面開催」

・取り組み状況の確認

減災のための目標

減災のための目標

5年間で達成すべき目標

糸魚川地域の河川の特徴

①急流河川であることから、流れが速く多量の土砂を含む洪水が発生する。

②平成7年7月11日に、大規模水害及び多くの土砂災害を経験。

大規模水害に対し

『迅速かつ確実な避難ができる地域防災力の向上』を目標とする。

※ 大規模水害 ・・・・・ 想定し得る最大規模降雨に伴う洪水氾濫による被害。

※ 迅速かつ確実な避難 ・・・・・ 急激な水位上昇など住民自らがリスクを察知し、状況に応じた確実な避難ができる状態。

※ 地域防災力の向上 ・・・・・ 個々の防災意識を高め、地域全体の防災力向上のため「自助・共助・公助」の連携を図る。

目標達成に向けた3本柱の取組

① 地域の特徴を踏まえた避難に関する取組

② 氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防活動の取組

③ 地域防災力向上のための継続的な取組

概ね5年で実施する取り組み

概ね5年で実施する取り組み

ハード対策の主な取組

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 危機管理型ハード対策（天端保護）
- 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

ソフト対策の主な取組

① 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■ 情報伝達、避難計画等に関する取組

・リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報発信等の防災情報の充実
・避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備及び検証と改善
・想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図の公表
・立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討
・広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
・災害発生の危険度の高まりを確認できる「危険度分布の予測（メッシュ情報）」の提供と利活用の促進

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

・住民の防災意を高め、地域防災力向上のための広報や資料の作成・配布等の啓発活動
・小・中学校等における防災教育
・地域全体の防災力向上を図るため、町内や自主防災組織等による訓練の実施
・地域で役立つ防災士の養成

概ね5年で実施する取組

ソフト対策の主な取り組み

② 洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間確保のための取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制強化に関する取組

・水防団等への連絡体制の確認と関係機関が連携した実践的な訓練
・関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施
・毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
・水防活動の担い手となる水防協力団体等の募集・認定を促進
・国が開催する地方自治体職員等を対象とした水防技術講習会等に参加

■ 要配慮者利用施設の自衛水防の推進に関する取組

・要配慮者利用施設による避難確保計画の作成及び避難訓練の実施に向けた支援を実施

継続的な取組

■ 地域防災力向上のための継続的な取組

継続的な取組により住民自らが災害や防災への興味・関心を高め、「自分の命は自分で守る」という主体的な姿勢を育み『災害から生き抜く力』を身に付け、さらには世代間の継承、災害に強い糸魚川周辺地域の文化を形成します。

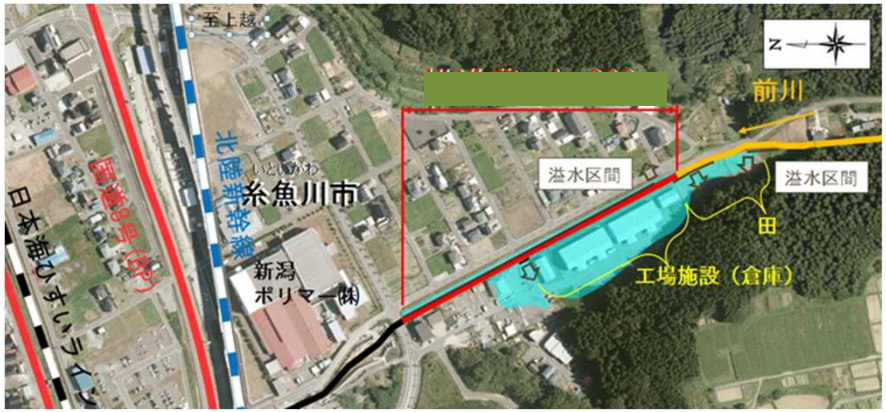
『迅速かつ確実な避難ができる地域防災力の向上』

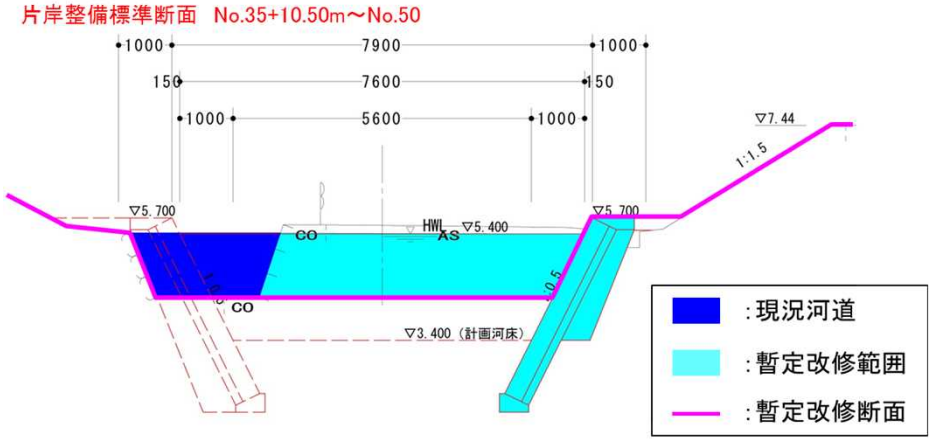
取組方針に基づく取組状況
～ハード対策の主な取組～

ハード対策の主な取組

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

➢ **前川の河川改修**【二級河川前川で河川改修事業を実施中：新潟県】





河川改修事業により護岸を整備
R1年度⇒左岸L=140m

ハード対策の主な取組

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- **河川内の伐木・河床掘削**

  【R1年度は、姥川、海川、境川、根知川、能生川、早川の6河川で実施：新潟県】

境川の河床掘削 （糸魚川市市振地内）

施工前

施工後

ハード対策の主な取組

洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- **河川内の伐木・河床掘削**

  【R1年度は、姥川、海川、境川、根知川、能生川、早川の6河川で実施：新潟県】

根知川の伐木 （糸魚川市山寺地内）

施工前

施工後

ハード対策の主な取組

危機管理型ハード対策（天端保護）

➢ **堤防天端の保護**【R1年度は能生川の堤防で実施（273m）：新潟県】

避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

➢ **水防資機材の配備** 【出水期前に各機関で点検を実施：新潟県5月25日、糸魚川市5月22日～6月10日の間に実施】

ハード対策の主な取組

避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

➢ **円滑な避難活動や水防活動を支援するための水位計・監視カメラの設置**【新潟県】

危機管理型水位計（電波式）の設置

・R1年度は、青海川、下大野川、上路川、能生川の4河川に設置

監視カメラの設置

・R1年度は、姫川、能生川、田海川、海川の4河川に設置

下大野川【榎田橋】の水位計設置状況

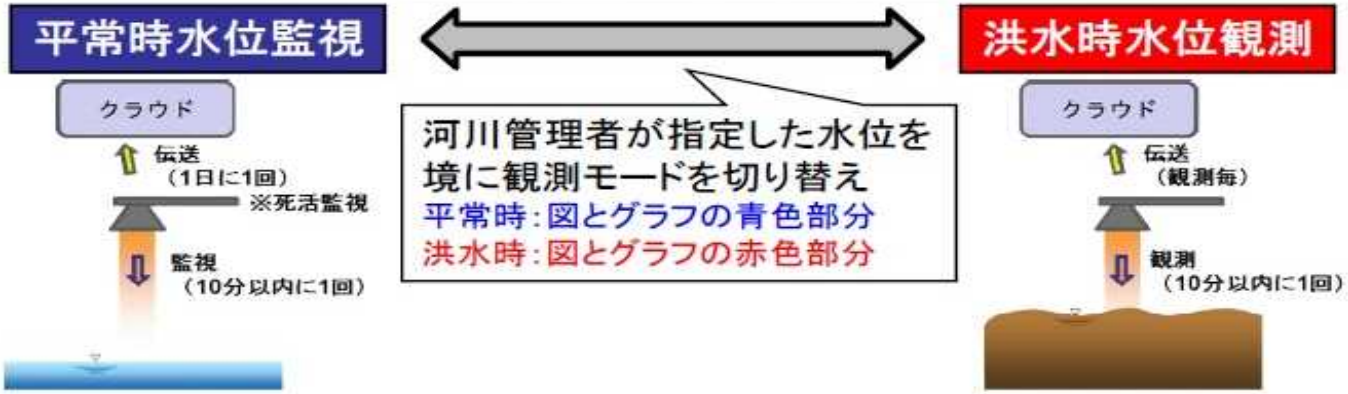
能生川【能生谷橋】の水位計設置状況

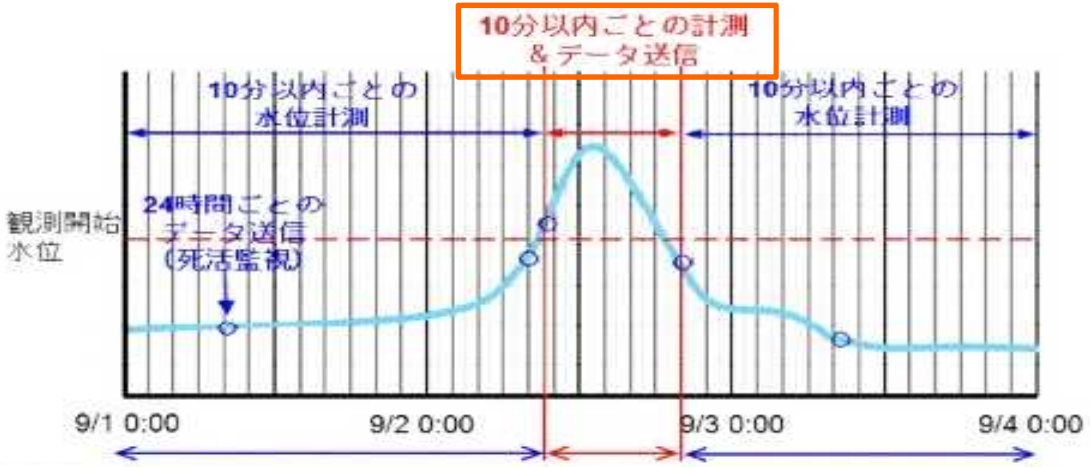
ハード対策の主な取組

新潟県

【 水位観測方法 】

一定の水位を超過した時に観測モードを切り替え、
10分以内毎に水位データを送信。水位データはクラウドで閲覧可能。





水位監視	10分以内に1回	10分以内に1回	10分以内に1回
データ送信	なし	10分以内に1回	なし
死活監視	1日に1回 ※該当時刻データのみ		1日に1回 ※該当時刻データのみ

誰でもインターネットで見れます

出典：国土交通省HPより

取組方針に基づく取組状況
～ソフト対策の主な取組～

ソフト対策の主な取組～円滑かつ迅速な避難行動のための取組～

情報伝達、避難計画等に関する取組

- **ホットラインの実施および検証**

  【H29年4月に構築し、H31年4月21日の洪水演習で検証：新潟県、糸魚川市】

- **リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報発信等の防災情報の充実**

  【新潟県河川防災情報システムの改善⇒①危機管理型水位計の推移データーを掲載
  ②視認性・操作性向上のため画面を全面改良（6月13日）：新潟県】

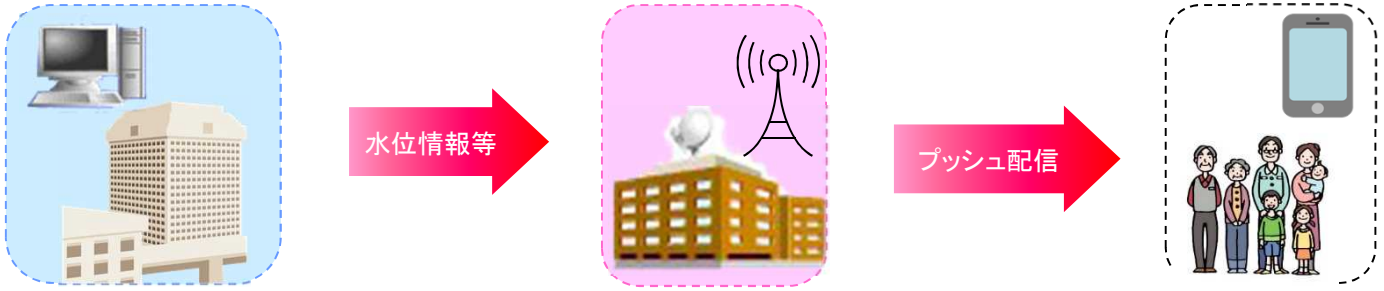
  【出前講座等で各種河川情報、気象情報の活用について啓発：糸魚川市】

- **避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備及び検証と改善**

  【能生川で警戒水位等の検討を継続：新潟県】

  【風水害タイムライン（消防本部対応）を使用した実災害対応及び検証後の全庁的な
  タイムラインの見直し：糸魚川市】

防災情報の充実イメージ【プッシュ型配信の検討】



ソフト対策の主な取組～円滑かつ迅速な避難行動のための取組～

情報伝達、避難計画等に関する取組

- **想定最大規模も含めた洪水浸水想定区域図の公表**
  【能生川、小見川、島道川、高倉川、川詰川の想定最大規模浸水想定図の作成と公表：新潟県】
- **立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討**
  【R2年度以降検討：糸魚川市】
- **水位周知河川等の指定促進**
  【能生川を水位周知河川とするための検討を継続：新潟県】

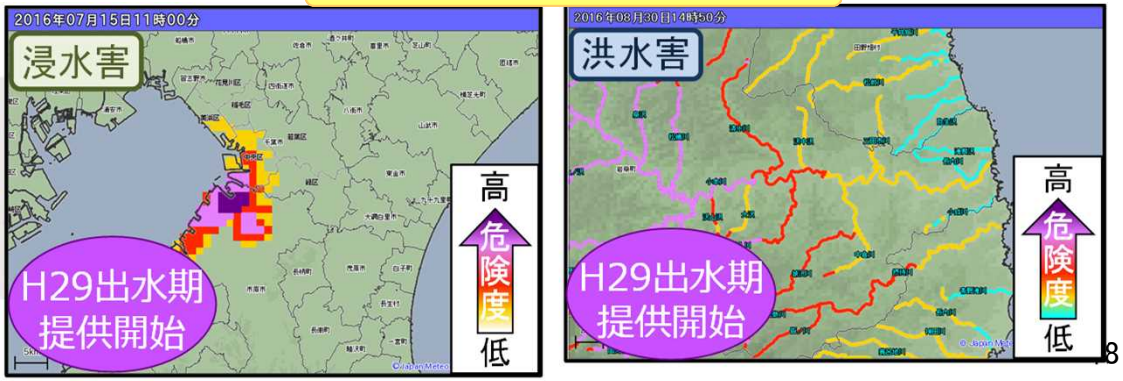
広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
【姫川洪水ハザードマップの流域全戸配布：糸魚川市】

- **災害発生の危険度の高まりを確認できる「危険度分布の予測（メッシュ情報）の提供・利活用促進**
  【洪水危険度分布情報を引き続き提供中：気象台】
  【危険度分布情報の活用に向けた地域防災計画の改定支援を実施：気象台】
  【洪水警報の危険度分布広報グッズ（ルービックキューブ）の配布：気象台】

流域雨指数を活用した水害危険性の周知
【指数検討会の実施】

危険度ルービックキューブの配布

メッシュ情報の充実・利活用促進



ソフト対策の主な取組～円滑かつ迅速な避難行動のための取組～

平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

- **市民の防災意識を高め、地域防災力向上のための広報や資料の作成・配布等の啓発活動**
  【防災リーダー研修の実施（3月）、出前講座の実施（通年実施）：糸魚川市】
- **小中学校等における防災教育や出前講座等を活用した説明会の実施**
  【根知小学校(6月8日)、大野小学校(10月31日)、自然災害から命を守る防災教育を実施：新潟県】
  【子ども防災体験を実施（11月24日）：糸魚川市】

根知小学校で防災教育を実施

出前講座を実施

ソフト対策の主な取組～円滑かつ迅速な避難行動のための取組～

平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

- **地域全体の防災力向上を図るため地区や自主防災組織等による訓練の実施**
  【糸魚川市総合防災訓練の実施（6月23日全市にて）：糸魚川市】
  【出前講座の実施】
- **地域防災支援者としての研修の実施**
  【自主防災組織向け避難支援セミナーを実施（9月14日）　：糸魚川市】

自主防災組織の推進

実践的な訓練の実施

糸魚川市総合防災訓練

研修の実施

避難支援セミナー

ソフト対策の主な取組～洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間確保のための取組～

水防活動の効率化及び水防体制強化に関する取組

- **水防団等への連絡体制の確認と関係機関が連携した実践的な訓練**

  【関係機関が連携した情報伝達訓練を実施（4月26日）：国土交通省、新潟県、糸魚川市】

- **新潟県や糸魚川市、関係機関と重要水防箇所や水防資機材の合同巡視を実施**

  【二級河川の重要水防箇所や水防資機材の合同巡視（5月22日）：新潟県、糸魚川市】

- **毎年、関係機関が連携した水防訓練等を実施**

  【 一級河川関川で水防訓練を実施（5月19日）：国土交通省、新潟県、糸魚川市、上越市、妙高市】

二級河川重要水防箇所の合同巡視

水防訓練の実施

ソフト対策の主な取組～洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間確保のための取組～

水防活動の効率化及び水防体制強化に関する取組

- **水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進**

  【消防防災フェアにおいて団員を募集(9月8日):糸魚川市】

- **国が開催する地方自治体職員等を対象とした水防技術講習会等に参加**

  【上越会場にて受講(10月2日):新潟県】

団員の確保と募集

消防団員の確保が厳しい状況ですが、少しでも多くの方が入団していただけるよう、昼夜を限定した活動や特定の災害種別にのみ活動し、消防団活動を補完する役割を担う機能別消防団員も募集しています。

水防技術講習会に参加

土のう作り

杭拵え

水防マット工

月の輪工

ソフト対策の主な取組～洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間確保のための取組～

要配慮者利用施設への取組

➢ **要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び避難訓練実施に向けた支援**

【糸魚川市内の要配慮者利用施設への支援に生かすため、上越市安塚区の特別養護老人ホーム「あいれふ安塚」の避難訓練を視察：新潟県、糸魚川市】

【教育委員会、福祉関係課などと連携した、避難確保計画作成の支援(説明会2月14日)】

【平成29年　水防法改正】

市町村地域防災計画に位置付けられた**要配慮者利用施設の所有者又は管理者は「避難確保計画」の作成、「訓練」の実施、「自衛水防組織」の設置をしなければならない。(義務)**

要配慮者利用施設の避難訓練を視察

入居者を施設から搬送

入居者を避難所で受け取り

避難後の入居者

フォローアップ

フォローアップ

○　各機関の取組内容については、組織的、計画的、継続的に取り組むことが重要です。

○　原則、本協議会を毎年出水期前に開催し、取組の進捗状況を確認し、必要に応じて取組方針を見直します。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図るなど、継続的なフォローアップを行います。

○　今後、全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集した上で、随時、取組方針を見直します。